

今より少し便利で イケてる生活へ

～大人の生活を見て考えたこと～



香川県立高松養護学校 谷口公彦

sさんのお宅からのsos



- 重度の身体障害と構音障害
- ヘッドスティックでパソコン操作
- パソコンの調子が悪くて不安
- 買い換えたいけど、専用ソフトや機器がたくさんで難しい
- 手伝ってくれる人が近くにいない

実際にご自宅への訪問を重ねながらサポート



- パソコンの入れ替え
- 専用品の後継製品探し
- 「重度障害者意思伝達装置」給付制度利用
- 電気店で、納品やセットアップの依頼
- 古いPCからのデータの救い出し etc

何とかサポートが完了

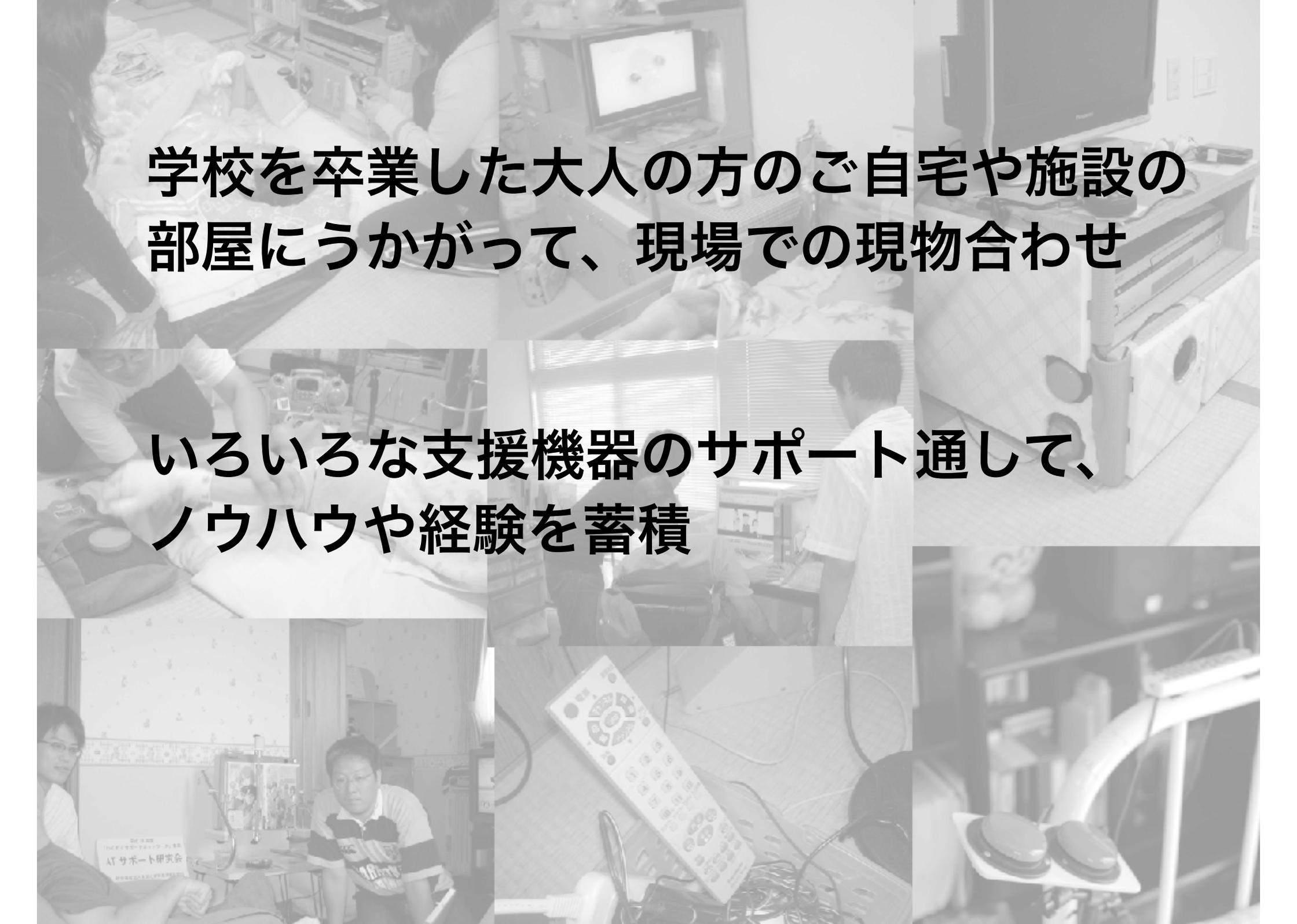


- これまでの活動を維持
- 今までより、少し便利な環境に
- 情報収集、手続き、そして
トライアル&エラーの連続
- 時間の工面の問題
- 他にも似た状況の人が...
- 個人活動では、対応していけないなあ

ATサポート研究会



- ・職場の同僚や後輩
- ・大学の先生・学生
- ・福祉関係者、施設職員
- ・リハ関係の先生



**学校を卒業した大人の方のご自宅や施設の
部屋にうかがって、現場での現物合わせ**

**いろいろな支援機器のサポート通して、
ノウハウや経験を蓄積**

- 行ってみて初めて分かることが多いこと
- 生活にはいろいろな事情が絡んでいること
- 障害のある方の生活への想像力や発想力



生活の場に身を置いて、いろいろなことを見聞きする機会

キヨさん（当時30代）

本校卒業生

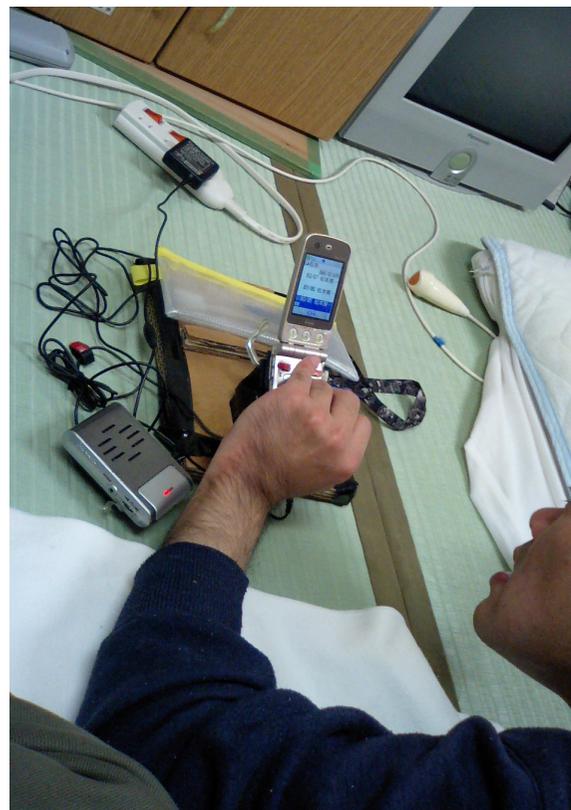
入所施設で生活

学生時代からワープロを始め

パソコン歴は十数年



僕って・・・携帯電話って・・・使えないかなあ

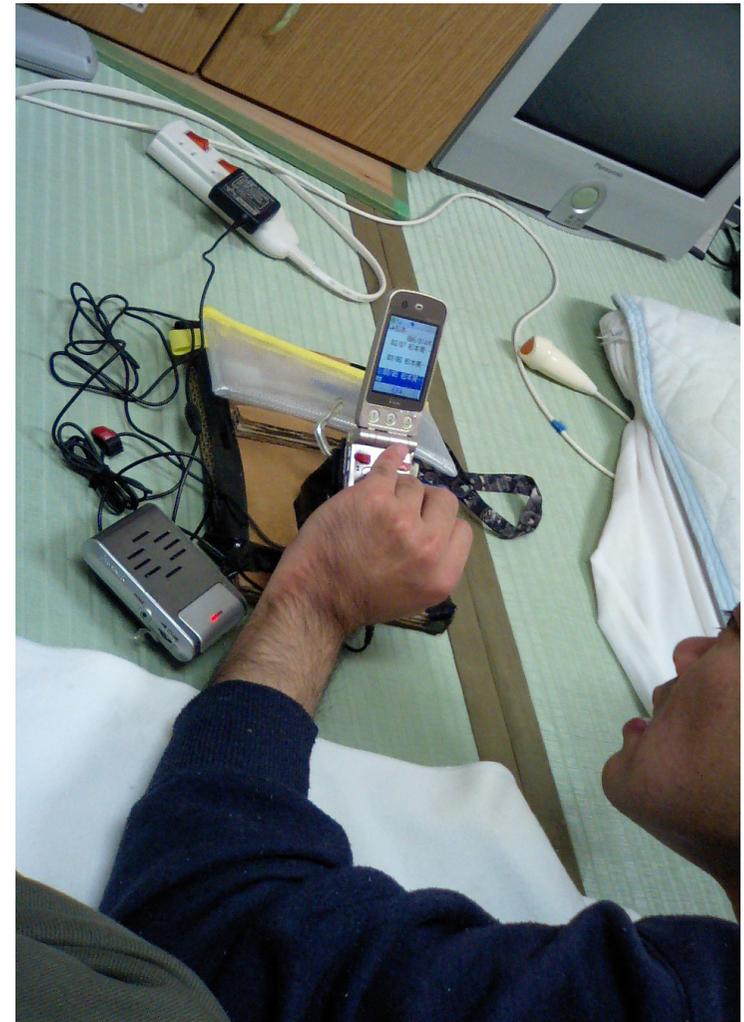


キヨさんの携帯電話の設定

自室での電話、メール

プライバシー
遠慮・タイミング

「思いついた時に、
誰に連絡しても構わない」



ICT機器の導入が生活に与えた影響



10年経った現在のキヨさんの携帯電話
(ほとんど変わっていません) ¹¹

スマホへの乗り換えを手伝って欲しい

今よりも、少し便利でイケてる生活

- キヨさんとの連絡、やりとりに困りを感じていた。
- 機器が、必ずしもキヨさんの活動の実現に役立っていないのでは・・・？

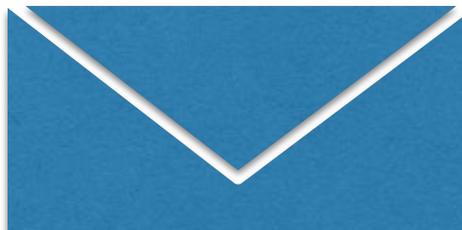


キヨさん視点

- 携帯メールの入力が大変になってきた
- 返信が面倒で、そのうち忘れる
- パソコンでのメールは通知が来ないし、広告メールが溜まって・・・

谷口視点

- 用件はメールで教えてほしい
- メールへの返事がこない
- 返事がないまま、やりとりが途切れる



キヨさん視点

- できれば電話ですませたい
- 出してもらえないことも多い
- 要件を言い切らないうちに切られてしまう
- それでも携帯電話は大切

谷口視点

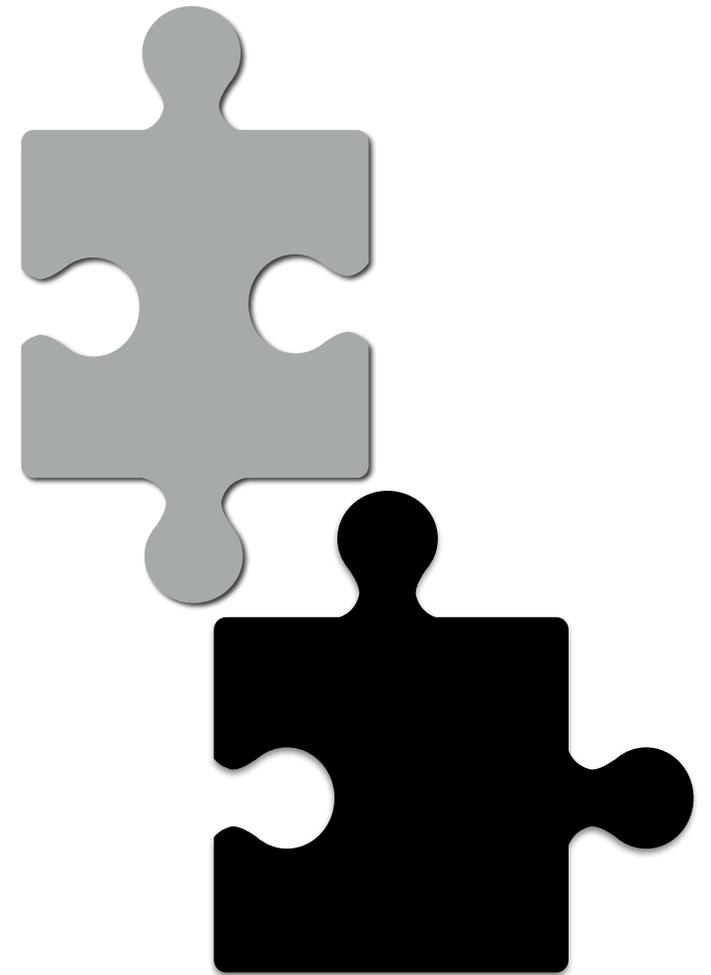
- ズレなく会話をするのに時間がかかる。
- 「ついでに」が多くて終わらない
- 長くなりそうで電話を受けられない。掛け直しも躊躇
- 面会も同じ。頻度はすぐ下がる



連絡手段についての
お互いの事情の合わなさ

相談ごとが解決しない
希望が叶わないまま

ATサポート研究会も
サポートの力が減衰



メールの不便を「パッと解消」

広告メールが多くて、
メールが見つけれられない

広告メールの解約
フィルタリング

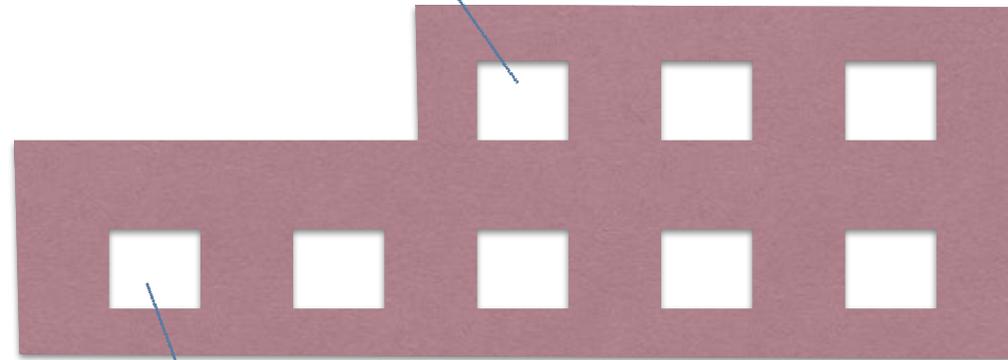
携帯電話での入力が
大変になってきた

通知がこないのも、
チェックを怠りがち

Facebook
LINEの活用

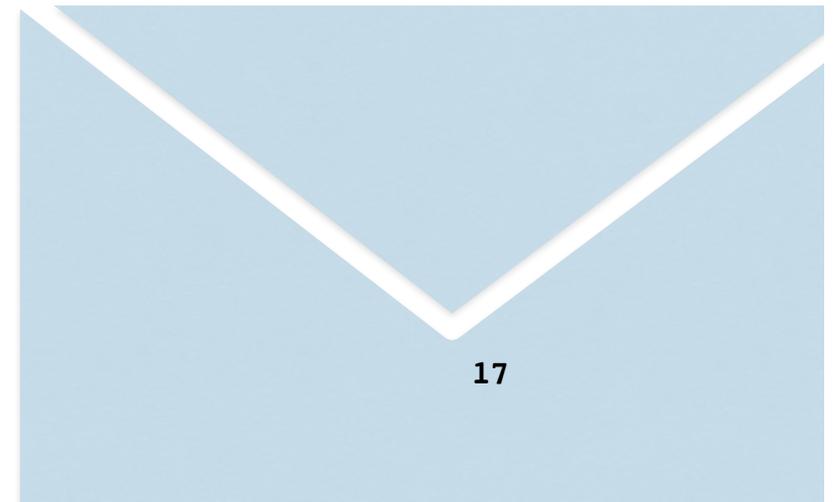
パソコンとの
組み合わせで

 パソコン室



 自室

(和室・二人部屋)





魔法のプロジェクトのiPhone を自室に置いて着信確認



返信は、翌日パソコン室で

ビデオ通話がとどきましたよー。

手が当たったんでしょうか??



。はな😊

9月19日 9:19

ごめんなさい。いろいろとさわっていたら谷口先生の顔が写っていてビックリしたよ😨



9月19日 10:41

いいですよー。

まだ慣れてないんですから。

9月20日 9:12



ゆっくりとるように



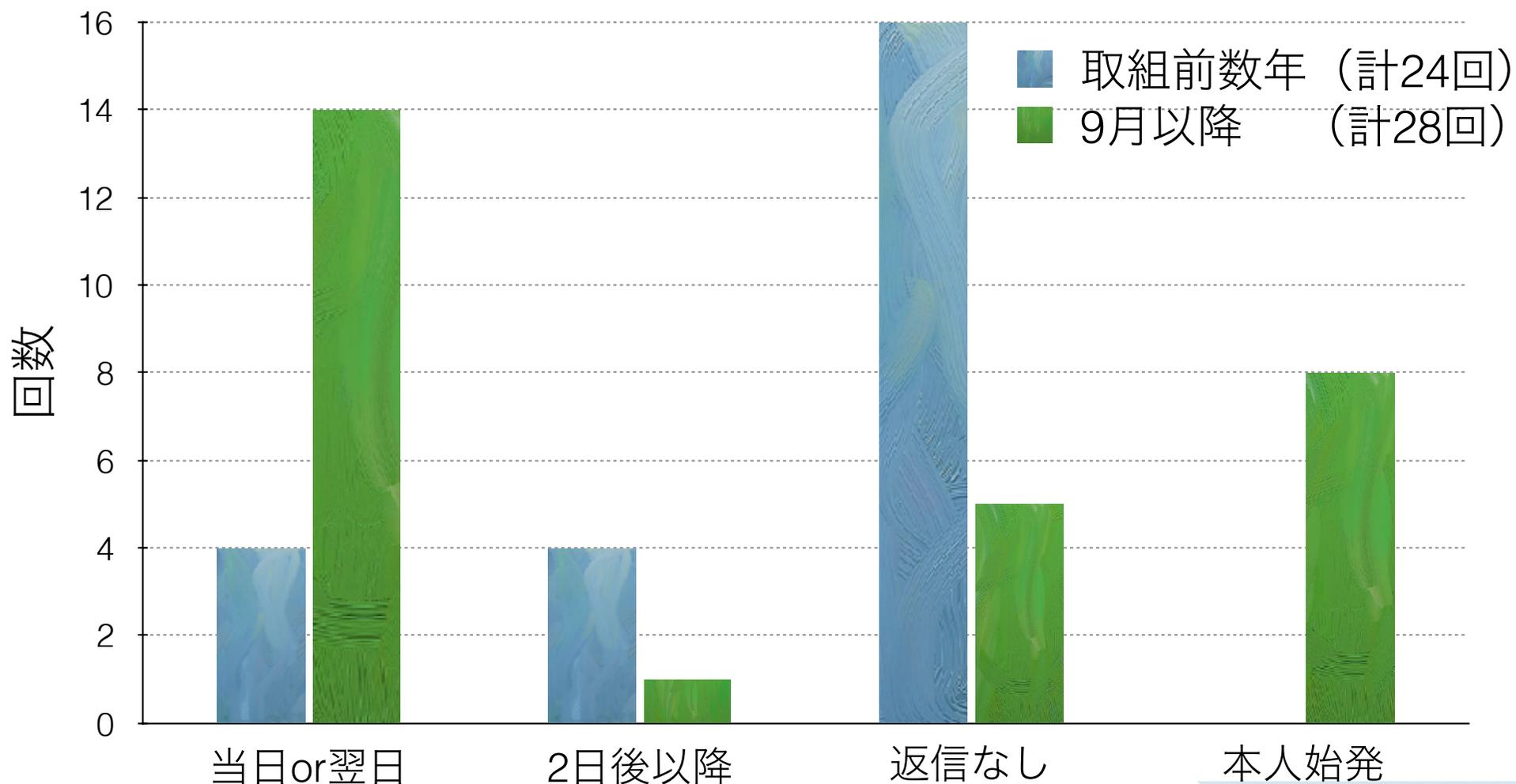
心がけるね



Aa



メール・メッセージの返信にかかる日数の変化



再び、互いの時間のズレを補ってくれるツールに

面会にはとにかく「時間がかかる」

1. 1回30分の短時間訪問
2. その分、頻度を上げる
3. 用事がなくても通ってみる

「時間がかかる」こと自体を
取り除いてみると・・・

- 時間調整の段取りがほぼ不要
- サポートは細切れになったが、キヨさんの役割が増えた
- ミッションに迫られない分、気づきや周辺情報が増えた

9月

27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

11月

29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

12月

26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

通話も電話と同様のスタイルで

詳細な打ち合わせでなく、雑談のツールに

1. 1回30分までの短時間通話
2. その分、取る頻度を上げる
3. その日のうちに掛け直す

「少し便利でイケてる生活」に つながっていることを示すエビデンス



- 年賀状づくりのエピソード
- 20年以上、パソコン活用のための大学生アルバイトを利用
- 年賀状もその一環で
- しかし、大学生アルバイトがついに途切れ、年賀状づくりも存続の危機

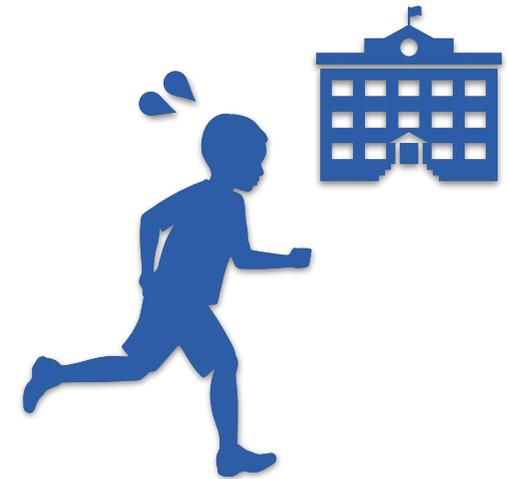
昨年の年賀状アルバイトを探す取組



- 大学の先生との打合せのメールのやりとりが途切れ途切れに



- 大学の先生から会う曜日を提案されたが、自分の予定の変更ができない



- 時間切れで、谷口が大学に出向いて急場をしのぐ結末

今年 of 取組



- キヨさんから大学の先生に協力依頼のメールを送る
- アルバイトの学生さんとの連絡に、谷口からFacebookメッセンジャーのグループチャットを提案
- 「次から困るから自分でやってみるよ」と主体的に
- キヨさんがキャプテンとしてやりとりを仕切る

- 無事に年賀状が完成！
- 「素晴らしいキャプテンぶりでしたね！」
という言葉に笑顔

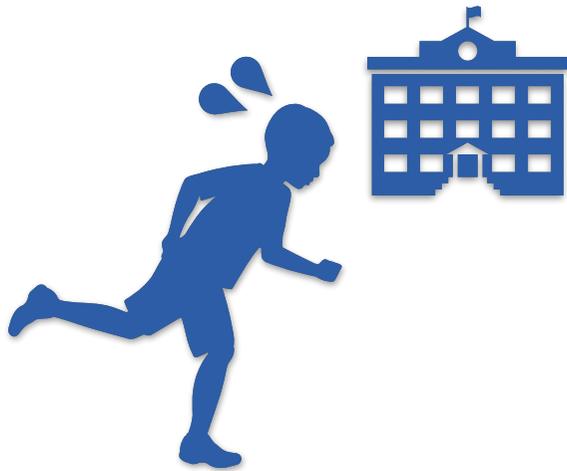
機器環境の見直しが、活動実現に役立った

キヨさん自身も、
「イケてる感じ」をもてたのでは

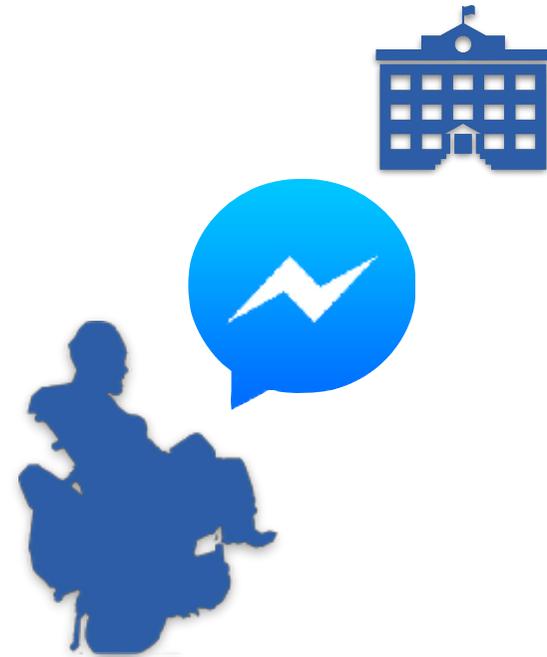
“大人を見て教育を考える”

何が違ったのでしょうか

去年

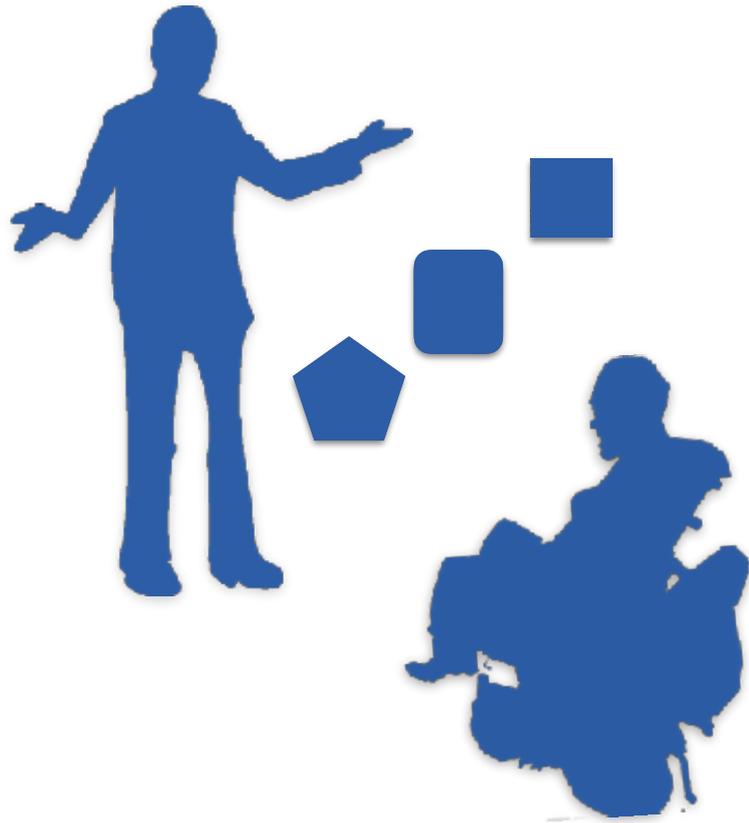


今年



機器環境以外にも、活動実現に関わる要素があった^{ため}では

何が違ったのでしょうか



- 支援者が選択肢を示して、キヨさんが答える
- 依頼した後は、相手の出方、提案を待つ立場

いつの間にか、取組の主体が入れ替わる・・・？

いつの間にか、主体が入れ替わってしまう生活状況



私の教育活動を振り返ると・・・

- 取り組みの主体が、教師の側に移っていないか？
- 教師の立ち位置の点検
- 試行錯誤を許容できる時間・・・

子どもに任せる前提は、
必要な手段と一緒に準備しておくこと



- スマホの買い替えもキヨさんをキャプテンに進行
- 話題によって解決を急ぐ局面はあるが、大人の人とのお付き合いやサポートでは・・・

「つながりを途切れさせない」ことが土台